

令和5年度 授業改善推進プラン（小学校学級担任用）

福生第三小学校 第3学年2組 担任 ○○ ○○

1 福生市学力・学習状況調査の結果				
	分類	意識調査の質問項目	組	全国
学びに向かう力	感情のコントロール	5 家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う	93.5%	95.2%
		25 自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある	87.5%	84.2%
		26 自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う	93.8%	92.3%
	目標の達成	10 ふだんから「不思議だな」、「なぜだろう」と感じることもある	43.8%	64.8%
		15 ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある	100%	92.2%
	他者との協働	61 わたしは、友だちの心をきずつけることを言ったり、からかったりしていない。	25.0%	73.8%
	学力と関係が深い質問	10 学習していて、面白い、楽しいと思うことがある。	87.5%	87.9%
		17 新しく習ったことは、何度も繰り返して練習している。	78.1%	76.9%
		19 わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	78.1%	79.5%
領域名	学力調査の分析 ○成果 ▲課題			
国語	言葉・情報・言語文化	▲全国平均正答率を.16.7ポイント下回り、(文の主語を選ぶ)設問に課題がある。		
	話すこと・聞くこと	▲全国平均正答率を.2.1ポイント下回り、(放送中の説明と合う内容を選ぶ)設問に課題がある。		
	書くこと	▲全国平均正答率を.14.9ポイント下回り、(場面の様子を読み取り、想定される発言を書く)設問に課題がある。		
	読むこと	▲全国平均正答率を.8.2ポイント下回り、(場面の様子を読み取って選ぶ)設問に課題がある。		
算数	数と計算	▲全国平均正答率を.9ポイント下回り、(3位数-2位数の繰り下がりのある筆算をする)設問に課題がある。		
	図形	▲全国平均正答率を.29.6ポイント下回り、(直角三角形を作図する)設問に課題がある。		
	測定	▲全国平均正答率を.30.9ポイント下回り、(かさの単位換算する)設問に課題がある。		
	データの活用	▲全国平均正答率を.20.8ポイント下回り、(指定の時刻までに学校に戻れたかどうかを説明する)設問に課題がある。		
2 児童の実態		3 児童の実態を踏まえた授業改善の取組		
<p>国語の学習に関しては、多くの項目で全国平均正答率を下回り、課題が見られる。特に、『文の主語や術語を選ぶ』や『場面の様子を読み取り、想定される発言を書く』設問で、全国平均を大きく下回った。意識調査では、『本や新聞を読んでいる』『国語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている』が全国平均よりも低く、それが原因であると考えられる。</p> <p>算数の学習に関しては、全国平均正答率を下回る項目が数多く見られる。特に記述式の応用問題が全国平均を大きく下回った。意識調査では、『図や表を組み合わせて自分の考えを説明したことがある』が全国平均よりも低く、それが原因であると考えられる。</p>		<p><国語></p> <ul style="list-style-type: none"> 主語や述語の確認の機会を増やす。また、継続して朝読書に取り組んでいく。 文章を読み取り抱いた感想を相互に交流する機会を増やすことで、読み取る力の向上を図る。 <p><算数></p> <ul style="list-style-type: none"> 文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明させる時間を多くする。 友達と対話的に解決する課題解決学習の時間を増やし、基礎力と応用力を高める。 基本的な四則計算を、ミライシードやドリルを使って繰り返し練習させ基礎基本の力を定着させる。 		
4 ミライシードとの連携機能を活用した取組				
個別ドリルの実施状況		令和5年8月末時点で完了している児童 81.2% (26人/32人中)		
確認テストの実施状況		令和5年8月末時点で完了している児童 78.1% (25人/32人中)		